



発行所

公益社団法人

福島県食品衛生協会

郵便番号960-8043

福島市中町7番17号 ふくしま中町会館6階

TEL 024(521)4310

FAX 024(523)5674

ホームページ<http://www.f-shokkkyo.jp/>E-mail:fukushimashokkkyo@f-shokkkyo.jp

新しい年を迎えて

新年、明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より当協会の事業運営にご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、インバウンド需要が増加する中、ふくしまプレデスティネーションキャンペーンなどにより県内の観光地には国内外の観光客が多く訪れ、各地で賑わいが見られました。

一方、米国の関税措置や物価高騰に加え、労働力不足が続く中、県内の経済環境は厳しい状況にあり、飲食・観光業を始め食品業界全体に大きな影響を及ぼしております。

このような中で、食品事業者の皆様が安全で安心な食品の提供にご努力されていること、また、食品衛生指導員の方々が日頃から会員等への指導のためご活躍いただいていること、さらに、皆様のご協力の下、昨年、福島県食品衛生大会、食品衛生指導員養成講習会や専門食品衛生指導員研修会等を開催できたことに深く感謝を申し上げます。

福島県食品衛生協会会長 岸 秀年

食品衛生法の改正により、原則、全ての食品等事業者が対象とされるHACCPに沿った衛生管理が完全施行されてから4年半が経過し、その定着と振り返りに取組ながら衛生管理の底上げを図っていくためには、食品等事業者はもとより、業界全体としての取組が求められており、当協会といたしましては、積極的に各種の事業を実施していかなければならないと考えております。

皆様におかれましても、HACCPに沿った衛生管理を最優先としつつ、食品衛生指導員活動、「食の安全・安心・五つ星事業」の推進、「あんしんフード君」・「食品営業賠償共済」の加入促進を図ってまいりますので、更なるご理解とご協力をお願いいたします。

今後も会員の皆様、そして消費者の皆様信頼される食品衛生協会を目指してまいりますので、旧年に増してのご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

結びに、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



新年の御挨拶

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

震災と原発事故から間もなく15年の節目を迎えようとしております。この間、県民の皆様の懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、福島県は着実に復興への歩みを進めてまいりました。

昨年は、全国新酒鑑評会において、「ふくしまの酒」が3年振りに金賞受賞数日本一に返り咲きました。また、東京2025デフリンピックでは、本県ゆかりの選手の皆様がすばらしい活躍をされたほか、本県復興のシンボルであるJヴィレッジで開催されたサッカー競技においては、男女ともに銀メダルを獲得されるなど、明るい話題が続きました。

このような中、避難地域では、特定帰還居住区域において、除染や家屋の解体、インフラ等の整備が進められるとともに、福島国際研究教育機構(F-REI)の施設整備も本格的に始動いたしました。

また、県内への観光客入込数が初めて震災前水準を超え、移住者数も過去最多を記録したほか、震災後、55の国・地域で行われていた県産農林水産物の輸入規制が、台湾の規制撤廃により5つの国・地域にまで減少するなど、これまで続けてきた挑戦の成果が目に見える形となって現れてきています。

一方で、原子力災害に伴う様々な課題を始め、急激に進む人口減少や、度重なる自然災害への対応など、いまだ複雑で困難な課題が山積しており、今後も長く厳しい戦いが続きます。

このため、本県の復興・再生と「福島ならではの」地方創生の実現に向け、今後も全力で挑戦を続けてまいります。

福島県知事 内堀雅雄

まず、震災と原発事故からの復興・再生につきましては、令和8年度から第3期復興・創生期間がスタートします。次の5年間は、避難者の帰還等の取組を一層進めなければならない、極めて重要な期間となることから、生活再建や産業・生業の再生、風評の払拭と風化の防止などに取り組むとともに、復興の進捗に伴って生じる新たな課題やニーズにもきめ細かく対応してまいります。

また、地方創生、すなわち人口減少対策につきましては、昨年、「ふくしま共創チーム」を設立いたしました。人口減少を取り巻く課題は多種多様であることから、オールふくしまで共に考え、共に挑戦することにより、持続可能で豊かなふくしまを目指してまいります。

今年は、福島県が誕生して150年、震災と原発事故から15年という本県にとって非常に重要な年です。

この大きな節目の年に開催する、「ふくしまデスティネーションキャンペーン」や「大ゴッホ展」などを通じて、復興が進む「福島は今」と本県の魅力を国内外の多くの方々に「見て」「触れて」「感じて」いただきたいと思います。

今後も、県の総合計画に掲げる取組の一つ一つ着実に前へ進めながら、県民の皆様と共に、挑戦を続けてまいりますので、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人福島県食品衛生協会の皆様の益々の御活躍と御健勝を心からお祈り申し上げまして、新年の御挨拶といたします。

令和7年度通常総会を開催

5月29日杉妻会館(福島市)において、令和7年度通常総会が開催されました。

岸秀年会長の挨拶のあと、来賓の福島県知事(代理菅野俊彦保健福祉部長)、福島県議会議長(代理渡邊哲也福祉公安委員会副委員長)、公益社団法人日本食品衛生協会理事長(代理塚

脇一政専務理事)から祝辞を賜りました。丹野善一理事を議長に「令和6年度事業報告」、「令和6年度決算関係書類の承認」の議事を進行し、佐久間勝幹事から監査報告のあと、各議案につき承認を求めたところ全会一致で承認可決されました。

報告事項としては、「令和7年度事業計画」、「収支予算」、「令和5年度決算関係書類の承認」、「食品衛生指導委員会規程の一部改正」について事務局より説明を行いました。



来賓の菅野保健福祉部長



来賓の渡邊副委員長



来賓の塚脇専務理事

福島県食品衛生大会を開催

30の個人・施設を表彰

第49回福島県食品衛生大会は、11月14日に杉妻会館(福島市)において、受賞者、食品衛生協会関係者約40名が出席して開催されました。

表彰式典では、主催者の福島県知事(代理菅野俊彦保健福祉

部長)、岸秀年(公社)福島県食品衛生協会会長(代理林義功副会長)が挨拶を行いました。

その後、福島県知事賞(食品衛生優良施設8施設)、福島県食品衛生協会会長表彰(食品衛生功労者7名、食品衛生優良施設5施設、優良食品衛生指導員10名)の表彰状の授与が行われました。来賓の福島県議会矢吹貢一議長及び(公社)日本食品衛生協会理事長(代理新田謙総務部長)からお祝いの言葉があり、受賞者を代表して、親正産業株式会社(猪苗代地ビール館レストラン部)の遠藤俊平氏が謝辞を述べました。



主催者挨拶
(菅野保健福祉部長)



主催者挨拶
(会長代理・林副会長)



優良食品衛生指導員
(菊地敬一氏)



受賞者謝辞(猪苗代地
ビール館 遠藤俊平氏)



来賓祝辞
(県議会・矢吹議長)



来賓祝辞(日食協理事長
代理・新田総務部長)



食品衛生功労者
(林裕司氏)



食品衛生優良施設
(木村ミルクプラント(株))

第64回食品衛生指導員全国大会開催

優良食品衛生指導員

日本食品衛生協会理事長表彰に4氏

食品衛生指導員全国大会は、10月15日、台東区立浅草公会堂(東京都)において、全国から食品衛生指導員など約400名が参加し、全国6ブロックから11名の食品衛生指導員により体験発表が行われました。

その後、永年の功績が認められた食品衛生指導員等に理事長表彰の授与が行われ、当協会から4名の食品衛生指導員が受賞されました。



令和7年度食品衛生全国大会 盛大に開催

厚生労働大臣表彰に2氏・1施設

永年、食品衛生の向上に貢献されてきた会員の方がた及び食品衛生優良施設を顕彰する「食品衛生表彰の会」が開催され、厚生労働大臣表彰と公益社団法人日本食品衛生協会会長表彰の授与式が10月16日、明治座(東京都)で全国から約1,100名が出席し盛大に開催されました。

当協会関係者からは、厚生労働大臣表彰で食品衛生功労者2名、食品衛生優良施設1施設が受賞するとともに、公益社団法人日本食品衛生協会会長表彰に食品衛生功労者4名、食品衛生優良施設2施設が受賞しました。また、食品衛生行政担当者2名に会長感謝状が贈呈されました。式典では、伊原和人厚生労働事務次官、ならびに香田隆行日本食品衛生協会副会長の挨拶があり、それぞれの受賞代表者に表彰状が授与されました。



令和7年度 北海道・東北ブロック大会の開催

7月2日、ホテル千秋閣(花巻市)にて、約270名の参集のもと、厚生労働省健康・生活衛生局長、岩手県知事、岩手県議会議長などの来賓を迎え、盛大に北海道・東北ブロック大会が開催されました。

大会では、日食協理事長(代理水野常務理事)、北海道・東北ブロック連絡協議会長(代理仙台市望月副会長)の挨拶で始

まり、第1部の厚生労働省健康・生活衛生局長表彰では、5名の方が受賞されました。続いて、一般社団法人岩手県獣医師会食鳥検査センター白岩理恵子所長から「安全で安心して暮らせるために～食を守る獣医師の役割～」として特別講演が行われました。

第2部では、高館陽祐氏(北海道支部)、東海林明弘氏(岩手県支部)から食品衛生指導員の体験発表があり、岩手県県民くらしの安全課食の安全安心課阿部嘉智課長からの講評後、日本食品衛生協会令和7年度重点事業概要、大会決議の採択、次期開催地秋田県の阿部支部長の挨拶と続き、大会は盛会裏に終了しました。

食品衛生指導員研修会

6月11日、ビッグパレットふくしま(郡山市)において、各地区の食品衛生指導員、事務局職員、保健所担当者など約40名の参加を受けて開催しました。

研修では、福島県食品生活衛生課土屋喬薬剤師から「食品衛生の動向について」の講義、当協会から「令和7年度巡回指導目標(HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の定着と振り返り～五つ星で見える化! 衛生管理をアピールしよう～」と「令和7年度福島県食品衛生食品衛生協会の主な事業」について説明しました。

専門食品衛生指導員研修会

11月19日、南東北総合卸センター(郡山市)において、



主催者挨拶
(会長代理 大沼理事)



挨拶
(遠藤食品生活衛生課長)

今年度、新しく設けた専門食品衛生指導員17名に対して、専門性の高い食品衛生の知識と指



導技術並びに活動の活性化を目的に研修会を開催しました。

この研修会は、専門食品衛生指導員に対する初めての開催となり、地区食品衛生協会職員にも参

加していただきました。

研修の内容は、岸秀年(公社)福島県食品衛生協会会長(代理大沼由弘理事)、福島県食品生活衛生課遠藤昌彦課長から挨拶があり、その後、「食品衛生の動向について」として食中毒の発生状況、ノ



(清水春美氏)

ロウイルス食中毒等の予防、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の現状と課題等について、福島県食品生活衛生課大滝美雪主査から、続いて、(公社)日本食品衛生協会塚脇一政専務理事から「食品衛生指導員制度の現状と課題について」、他県支部の活動事例を含めて講演をいただきました。さらに、県内の活動事例として、鏡石町食品衛生指導員協議会清水春美氏から「商工会と連携する鏡石町食品衛生指導員協議会の活動について」の報告がありました。

参加者の方々は、熱心に食品衛生に関する最新の情報や知識等の習得と理解を深めていただきました。

令和7年度食品衛生指導員養成講習会



8月27日、南東北総合卸センター(郡山市)において、各地区食品衛生協会から推薦のあった33名の受講者が参加しました。

講習では、福島県保健所衛生課早川直哉技査から「食品衛生法と関係法令」と「最近の食中毒発生事例」、福島県食品生活衛生課土屋喬薬剤技師から「一般的衛生管理とHACCPによる衛生管理」、当協会から「食品衛生指導員活動等」について講義しました。受講者の方々は、令和8年4月1日付けで食品衛生指導員に委嘱されます。先輩の食品衛生指導

員と協力され食品事業者の良きパートナーや、食品業界の信頼されるリーダーとして、自主衛生管理の推進に活躍されることが期待されます。

食品衛生指導委員会企画・活動部会

8月20日、ビッグパレットふくしま(郡山市)において、企画・活動部会員等8名が出席しました。

部会では、最初に星賢福島県食品生活衛生課主幹から「食品衛生指導員活動に期待すること」の講話があり、引き続いて事務局から「他県支部における食品衛生指導員活動」の報告、「専門食品衛生指導員研修会の内容等」について、部会員で意見交換を行いました。



令和7年度 食品衛生関係受賞者の紹介(敬称略)

厚生労働大臣表彰

▶食品衛生功労者(2名)

滝田 重忠(郡山市)
伊藤 芳光(三春町)

▶食品衛生優良施設(1施設)

有限会社ミドリヤ(郡山市)

福島県食品衛生優良施設知事賞(8施設)

有限会社大丸屋(大玉村)
そば屋源重(石川町)
株式会社天乃屋矢吹工場(矢吹町)
猪苗代地ビール館レストラン部
(猪苗代町)
会津若松ワシントンホテルガスライト
(会津若松市)
さんすい(相馬市)
製麺ふくふく屋(郡山市)
入山パン店(郡山市)

公益社団法人日本食品衛生協会会長表彰

▶食品衛生功労者(4名)

田村 光司(西郷村)
佐藤 伸一(二本松市)

本山 秀毅(郡山市)

箭内 崇(川内村)

▶食品衛生優良施設(2施設)

お好み焼きみこ(鏡石町)
スナック フラワー(福島市)

公益社団法人日本食品衛生協会会長感謝状(2名)

高瀬 直美

福島県県南保健福祉事務所
衛生推進課長

岩崎美津江

福島県県中保健福祉事務所 主任主査

公益社団法人日本食品衛生協会理事長表彰

▶食品衛生指導員(4名)

柳沼 泉(郡山市)
大河内浩勝(いわき市)
瀬谷 安男(白河市)
齋藤 隆一(福島市)

公益社団法人福島県食品衛生協会会長表彰

▶食品衛生功労者(7名)

嶋原 岩男(二本松市)

三浦めぐみ(二本松市)

伊藤小百合(須賀川市)

伊藤 敏(三春町)

林 裕司(会津若松市)

五十嵐 隆(喜多方市)

野口 正敏(猪苗代町)

▶食品衛生優良施設(5施設)

日本そば和食 羽生(田村市)
近江屋(須賀川市)
マルト好間店惣菜部(いわき市)
マルト平白土店惣菜部(いわき市)
木村ミルクプラント株式会社
(いわき市)

▶優良食品衛生指導員(10名)

鈴木 美樹(福島市)
根本 裕介(福島市)
安田 裕子(二本松市)
大楽 哲男(小野町)
三瓶 邦彦(田村市)
菊地 敬一(白河市)
菊内 修(塙町)
三瓶 文博(三春町)
大和田美知子(三春町)
芝崎 秀史(いわき市)

ノロウイルス対策は!!
ウイルス減少効果A判定のアルコールで
食品添加物アルコール製剤

セハノールSS-1 NV63

業務用厨房の清潔環境づくりをお手伝い!
株式会社 セハージャパン

東京都千代田区外神田3-6-4 OSビル2F <http://www.seh-j.com>
☎03-3525-7081(代表) FAX 03-3525-7089



カップ・楯・トロフィー・バッジ

表彰楯・カップ・バッジ・メダル・校旗・団旗・優勝旗・金銀盃
銅器・花瓶・各種漆器・木盃・帽章・ボタン・各種記念品



ライオンズクラブ国際協会公認指定

有限
会社



〒960-8141 福島市渡利字柳小路79-4
TEL: 024(534)0255 FAX: 024(534)6657

E-mail: bikoo@agate.plala.or.jp
<http://bicoo.jp>

福島県からのお知らせ

【食中毒の発生状況について】

2016年から2025年10月末までに県内(中核市を含む)で発生した食中毒発生件数を病因物質別に集計した結果は図1のとおりです。2017年までの発生件数は例年20件程度で推移してきましたが、2018年に77件の食中毒が発生して以降、近年では年間50件程度の食中毒が発生しています。病因物質別にみると、2017年以降はアニサキス食中毒の割合が明らかに増加しており、効果的な対策が大きな課題となっています。

次に、食中毒患者数を病因物質別に集計した結果は図2のとおりです。2016年から2018年までは、約250から450名程度の患者が報告されていましたが、2019年から2022年までは概ね100名前後の患者数となっています。これは、近年の食中毒事例のほとんどを占めるアニサキス食中毒の1件あたりの患者数が、他の病因物質と比べて少ないためです。

また、2023年以降、ノロウイルスによる食中毒患者数

が大きく増加しています。特に2025年の発生件数は直近10年間で最も多く、特に冬季に流行することから2026年も引き続き注意が必要です。

さらに、ノロウイルス食中毒は、1件あたりの患者数が多くなる傾向があります。また、少量でも手指や食品などを介して口から感染(経口感染)し、感染から発症までの時間は食後24～48時間程度で、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱の症状を呈します。ノロウイルスは、中心温度85度から90度、90秒以上の加熱により病原性が失われますので、予防策を講じる上で留意してください。

なお、図1から明らかなように、2016年と近年とでは食中毒の発生傾向(病因物質)が大きく異なっています。近年発生した食中毒の主な病因物質3種に関する衛生管理計画の例を表1に示しました。

皆様には、今後も最新の情報を収集し、HACCPに沿った日々の衛生管理に反映していただきますようお願いいたします。

(福島県食品生活衛生課)

表1 近年発生している食中毒の病因物質上位3種に対する衛生管理計画の例

危害要因 (病因物質)	対象となる主な食品	管 理 方 法
アニサキス	鮮魚介類 魚介類加工品	【工程管理(加熱又は冷凍)】 ・60℃で1分間以上加熱する。 ・マイナス20℃で24時間以上冷凍する。
ノロウイルス	二枚貝 全ての食品	【一般衛生管理】 ・衛生的な手洗いを実施する。 ・従業員が胃腸炎症状を呈していないこと。 【工程管理(加熱)】 ・中心部を85℃90秒間以上加熱する。
カンピロ バクター	鶏肉を原料と する食品	【一般衛生管理】 ・調理器具を食材や汚染度に応じて使い分けていること。 【工程管理(加熱)】 ・中心部を75℃60秒間以上加熱する。

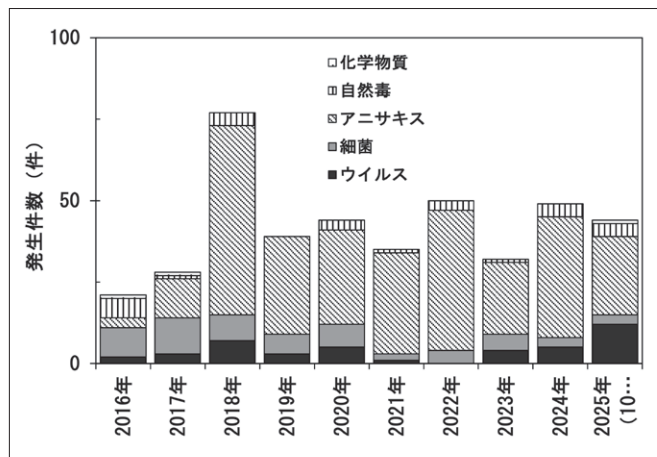


図1 福島県内の食中毒発生件数 (2016年-2025年10月末時点)

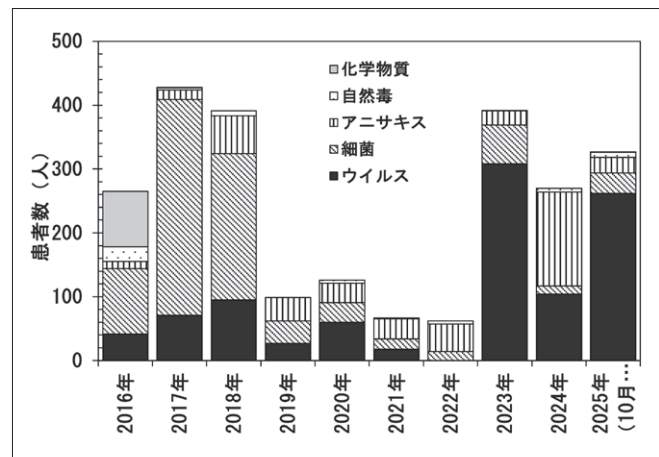


図2 福島県内の食中毒患者数 (2016年-2025年10月末時点)

各地区食協の活動状況

福島県北食品衛生協会

▶食品衛生指導員関係

- ・巡回指導の重点指導目標等について研修会を開催しました。
- ・巡回指導の活性化と指導の充実を図ることを目的とし、保健所食品衛生監視員が同行する巡回指導を実施しました。
- ・衛生知識の習得と情報交換の機会として、福島・伊達・二本松の3地区で研修会を開催しました。

▶食品衛生月間事業

「道の駅国見あつかしの郷」にて、消費者・行政(県北保健福祉事務所)・食品等事業者の三者による食品の安全に関する意見交換等を行いました。

▶第12回 県北産

「親子で作るまごころ食育お弁当」コンクール

地産地消の推進、食育の一環として行政等のご後援をいただき開催、397点の応募作品を審査し、8組の親子を表彰しました。

▶ノロウイルス食中毒予防対策講習会

食中毒予防強化期間事業として、福島市(11月28日、参加者68名)・二本松市(11月26日、参加者60名)で開催しました。



▲食品衛生指導員研修会



▲ノロウイルス食中毒
予防対策講習会

講師 郡山市保健所生活衛生課 主任 松波麻央氏

- ・「カンピロバクター食中毒とその予防」

講師 公益社団法人日本食品衛生協会 食品衛生研究所
微生物試験部長 甲斐明美氏

(2) ノロウイルス食中毒対策講習会(参加者130名)

令和7年11月5日ホテルハマツにて開催。

- ・「ノロウイルス食中毒の発生状況について」

講師 郡山市保健所生活衛生課 主任 松波麻央氏

- ・「適切な手洗いについて」

講師 食品衛生指導員(手洗いマイスター)
大沼由弘氏

- ・「HACCPに沿った衛生管理とノロウイルス食中毒対策」

講師 公益社団法人日本食品衛生協会
技術参与 黒崎嘉子氏



▲カンピロバクター
食中毒対策講習会



▲ノロウイルス食中毒
対策講習会

県中・県南食品衛生協会

令和7年4月1日に県中食品衛生協会と県南食品衛生協会は合併し、県中・県南食品衛生協会となりました。

▶食品衛生指導員研修会

食品衛生の動向並びに巡回指導重点指導目標について4地区で開催しました。

▶食品衛生月間事業

保健所敷地内に食中毒防止ノボリ設置等を行い広報に努めました。

【県中事務所】県中保健福祉事務所、福島県食品生活衛生課と共催で「肉と魚を安全においしく食べるための意見交流会」を開催、手洗いマイスターが手洗い実習を行いました。県中保健福祉事務所と共催で管内小学六年生対象に食中毒防止標語を募集しました。

【県南事務所】県南保健福祉事務所と共催で、管内2か所で街頭キャンペーンを行いました。

▶ノロウイルス食中毒の予防と対策講習会

12月にそれぞれの地区で講習会を開催しました。



▲手洗い実習



▲街頭キャンペーン

郡山食品衛生協会

▶食品衛生指導員研修会

令和7年7月16日に開催、出席者22名。

▶食品衛生月間事業

- ・食中毒防止ノボリの設置、パネルやポスターの展示、チラシ等の配布。
- ・尚志緑ヶ丘幼稚園児を対象に、手洗い教室を開催しました。

▶ノロウイルス食中毒予防強化期間

福島交通路線バス側面に食中毒防止標語入り戸袋ステッカーを掲示、チラシ等の配布をし、食中毒防止の広報に努めました。

▶食品衛生講習会の開催

- (1) カンピロバクター食中毒対策講習会(参加者70名)
令和7年7月23日にビッグパレットふくしまにて開催。
・「カンピロバクター食中毒の発生状況について」

会津食品環境衛生協会

▶ 食品衛生指導員研修会

7月7日会津保健所にて保健所一条直哉主任主査を講師に開催。

▶ 食品衛生月間事業

- ・街頭キャンペーンを3地区(会津若松・喜多方・会津坂下)で実施。
保健所職員とともに、指導員が食中毒予防リーフレット・啓発グッズを配布し、広く食中毒予防の呼びかけを行いました。
- ・保健所にノボリを設置し、来所者に啓発グッズの配布を行いました。

▶ ノロウイルス食中毒予防強化期間

11月20日会津若松市アピオスペースにて講習会を開催。保健所食品衛生チーム佐竹大樹主査を講師に食中毒発生の現況・ノロウイルスによる食中毒の予防と対策についての講話の後、感染症予防チーム湯田富喜子専門保健技師、鈴木愛歩保健技師を講師に、衛生的な嘔吐物の処理について、実演を交えた講話を受け、ノロウイルスによる食中毒の予防について、理解を深めました。(参加者71名)



▲街頭キャンペーン



▲ノロウイルス食中毒
予防対策講習会

双葉地区食品衛生協会

▶ 全国サッカーインターハイ大会に向けて巡回指導

小規模飲食店営業者、下宿屋、ホテルなど7月10日から27日の間にHACCPに沿った衛生管理状況や食中毒対策について巡回指導を実施しました。

▶ 食品衛生月間事業 (街頭キャンペーン)

8月9日、榎葉町こころ商店街にあるネモトスーパーにて相双保健所職員1名、指導員4名で食中毒予防のぼりを設置して一般消費者を対象にオリジナルグッズを配布しながら食品衛生の普及啓発に努めました。

▶ 食品衛生に関する事業

「ふたばワールド2025inかわうち」に参加

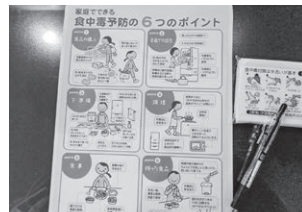
10月11日、双葉郡8町村の住民の交流の場として開催されました。天候には恵まれず一日中雨でしたが保健所職員2名、指導員6名で出店舗を巡回しながら食中毒予防グッズを配布するとともに、来場者にも食中毒予防グッズを配布しました。

▶ ノロウイルス食中毒予防強化期間事業

11月26日、リプルンふくしま(富岡町)にて、相双保健所職員を講師に招いて、飲食店営業者を対象にノロウイルスによる食中毒予防、手洗いの重要性の講習を行いました。



▲食品衛生月間事業
(街頭キャンペーン)



▲ふたばワールド2025
かわうち(配布グッズ)

いわき食品衛生協会

▶ 食品衛生指導員研修会

令和7年6月26日、総合保健福祉センター多目的ホールで開催。

▶ 食品衛生月間事業

- ・保健所来場者及び市内大型小売店のフードコート利用者やサービスカウンター利用者へ、啓発文入りオリジナル除菌シートを配布。
- ・総合保健福祉センター内に食品衛生に関する展示コーナーの設置。
- ・市内大型小売店様のご協力を得て、ポスターを掲示。
- ・新聞折込広告、朝刊等による食中毒予防啓発。
- ・「食中毒予防の3原則」入りオリジナルうちわを会員へ配付。

▶ ノロウイルス食中毒予防強化期間

「冬は特にご注意ください!ノロウイルス食中毒」リーフレットを会員及び保健所来場者へ配布。

▶ あんしんフード君の加入促進

ご契約のない施設ヘチラシ等を送付し、加入促進を行っています。



▲食品衛生月間事業
(展示コーナー)



▲食品衛生月間事業
(掲示物)



ART SCREEN PRINTING & ADVERTISEMENT
ENDOSCREEN
有限会社 エンドースクリーン

- ステッカー ●ラベル ●マグネットシート ●のぼり・横幕・たすき ●ゼッケン
- 旗・ペナント・ワッペン ●金属・プラスチックスタンド・ネームプレート ●ポスター
- 各種看板・表示板 ●クリアファイル他 ●各種カード・カードケース ●カレンダー
- 交通安全用品 ●販促用品・ギフト用品各種 ●オリジナルストラップ

PHONE 024-531-3180 FAX 024-531-3468
〒960-8204 福島市岡部字岡部9-2
E-mail endo-screen@proof.ocn.ne.jp

(公社) 福島県食品衛生協会推奨優良食品



(優良食品・添加物)

このマークのシールがはられた食品は福島県食品衛生協会の推奨品です。県内で製造加工される食品のうち、特に食品衛生に配慮し、味と品質にすぐれたものを「優良食品」として認定したものです。

福島県北食品衛生協会管内		
薄皮福々と饅頭 柚子饅頭	(株) 福々と本舗	024(531)2929
おんせんたまご	(株) 森 山	024(595)2014
郡山食品衛生協会管内		
薄皮饅頭	(株) 柏 屋	024(924)5511
家傳ゆべし	(株) かの屋	024(962)1616
ままだおる	(株) 三 万 石	024(956)1111
県中・県南食品衛生協会管内		
地酒三春駒	三春酒造(株)	0247(62)2816
味の麺高級麺詰合せ	(有) 井桁屋本舗	0248(75)3622
白河名物おきな餅	(有) 鈴木松月堂	0248(23)2568
白河関のそば	(株) カ タ ノ	0248(23)2310

会津食品環境衛生協会管内		
生めん会津ラーメン	(株) えどやフーズ	0242(27)0187
榮川純米吟醸酒	榮川酒造(株)	0242(22)7530
本場の味喜多方ラーメン	(有) 曾我製麺	0241(22)4020
蔵の里よむぎめん はすぬま元祖 生ラーメン	(有) 永 善	0241(22)0543
会津ほまれ勇気百倍	ほまれ酒造(株)	0241(22)5151
南会津地域		
松枝岐の裁ちそば	(株) 奈良屋	0241(62)0156
伽羅助(しょうゆ漬け)	(有) 平野物産店	0241(78)2532
相馬地域		
味付のり優印 味のり優印 おむすびのり	東北水産加工業(協)	0244(36)5226
ふくしまリングジュース	佐藤農園	0244(62)3181

(公社) 福島県食品衛生協会推奨優良施設



(優良施設)

この標識を掲げている施設は、食品衛生法に基づき許可を受けた施設のうちで、特に食品衛生に配慮し、安全な食品の提供に心がけている「優良施設」として福島県食品衛生協会が認定した施設です。

福島県北食品衛生協会管内		
(株) 聚 楽	飲食店(旅館)	024(542)2201
(有) 萬 清	飲食店(料理・仕出し)	024(522)4239
(有) 割烹寿しかんだ	飲食店(一般食堂・ すし屋・料理店)	024(546)2661
(有) 板倉旅館	飲食店(旅館)	024(523)1221
(有) 吉 川 屋	飲食店(旅館)	024(542)2226
鳥 よ し	飲食店(軽食堂)	024(565)3763
陽日の郷あづま館	飲食店(旅館)	0243(24)2211
(有) 菓匠清泉堂	菓子製造業	024(557)1758
(株) 福々と本舗	菓子製造業	024(531)2929
ムラヤマー ベーカリー	菓子製造業	0243(33)5858
森永乳業(株)福島工場	乳製品製造業	024(545)0136
(有) 本間肉店	食肉販売業	024(582)3203
ト ニ チ (株)	食品の冷凍又は冷蔵業	024(552)2161
(株) ヤクルト本社 福島工場	乳製品製造業	024(546)8960
内池醸造(株)	みそ・醤油製造業	024(554)6581
大七酒造(株)	酒類製造業	0243(23)0007
池田食品工業(株)	麺類製造業	024(553)8311
コープ食品(株) 東北工場	密封包装食品製造業	024(553)3351

郡山食品衛生協会管内		
(株) 福 豆 屋	飲食店(仕出し・弁当)	024(923)0539
(有) 三 松 会 館	飲食店(一般食堂)	024(932)0173
旭 鮨	飲食店(すし屋)	024(945)2469
ホ テ ル ハ マ ツ	飲食店(ホテル・レス トラ・仕出し・料理店)	024(935)1111
(株) 柏 屋	菓子製造業	024(924)5511
(株) 三 万 石	菓子製造業	024(956)1111
(株) 富多屋生麺	麺類製造業	024(943)1177
ま る 福	麺類製造業	024(973)8029
県中・県南食品衛生協会管内		
(株) 八 幡 屋	飲食店(旅館)	0247(26)3131
吉 田 屋	飲食店(一般食堂)	0248(23)3064
会津食品環境衛生協会管内		
玉 の 湯 旅 館	飲食店(旅館)	0242(65)2611
ゴールドハウス目黒	飲食店(旅館・ドライブイン)	0241(32)2523
(株) 太 郎 庵	菓子製造業	0242(83)3267
末 廣 酒 造 (株)	酒類製造業	0242(54)7788
榮川酒造(株)	酒類製造業	0242(22)7530
花春酒造(株)	酒類製造業	0242(26)3000
いわき食品衛生協会管内		
(株) かねまん本舗	魚肉練り製品製造業	0246(39)3360
青木食品工業(有)	水産製品製造業	0246(39)3555

(公社)福島県食品衛生協会推奨優良衛生機器類

食品を製造・加工・調理・保管を行うとき、衛生上役立つと認められる機器類を「優良衛生機器」として福島県食品衛生協会が認定したものです。

(優良衛生機器類)	アルボース石けん液ホーム容器	新和商事(株)郡山営業所	024(922)2639
	薬液噴射機ジェットパーフェクター	(株)協和エムザー	024(923)5035
	シャボネット石鹸液ユ・ム	福 味 商 事 (株)	0243(34)2328
	自動殺菌コントローラー (IRCシステム)ネオラックSB		
	アルコール除菌剤セハノール78	(株)セハージャパン	03(3525)7081
	アルコールスプレーセハー80		
	室内用捕虫器セハー虫ピタ虫		

食の安心・安全・五つ星店

(HACCP型)

HACCPの考え方を取り入れた衛生管理実施店

NO	地 区	屋 号 (店舗名)
1	福島県北	粹心庵八幡
2	福島県北	お食事処寿しむさし
3	福島県北	株式会社峰亀
4	福島県北	株式会社峰亀平野店
5	福島県北	株式会社峰亀成川店
6	福島県北	福島グリーンパレス (2店舗参加)
7	福島県北	ディライトフル キューズィーヌ きいちご
8	福島県北	有限会社菓匠清泉堂
9	福島県北	有限会社萬清
10	福島県北	摺上亭大鳥 (4店舗参加)
11	福島県北	亀寿司
12	福島県北	有限会社喜久寿し
13	福島県北	吉川屋 (2店舗参加)
14	福島県北	株式会社聚楽 (5店舗参加)
15	福島県北	トーニチ株式会社
16	福島県北	株式会社モンジュール セントヒルズ店
17	福島県北	創作和食ダイニング ふくすけ
18	福島県北	正伍郎
19	福島県北	たけだパン
20	福島県北	福島りょうぜん漬 大波本店
21	福島県北	株式会社福々和本舗
22	福島県北	大扇
23	福島県北	濱蝶
24	福島県北	からあげ伊達屋
25	福島県北	福島紅葉漬株式会社
26	福島県北	手作り菓子工房大野屋
27	福島県北	佐久間商店
28	福島県北	中国料理 桜華楼
29	福島県北	岩城肉店
30	福島県北	有限会社橘内商店
31	福島県北	有限会社糺和田屋
32	福島県北	智恵子の湯
33	福島県北	相模屋
34	福島県北	(有)井上商店
35	福島県北	花月堂花屋

NO	地 区	屋 号 (店舗名)
36	福島県北	丸宗商店
37	福島県北	有限会社ぬか茂菓子店
38	福島県北	株式会社青木食品
39	郡 山	かんの屋
40	郡 山	かど屋
41	郡 山	(株)いとうフーズ石塚工場
42	郡 山	平田屋
43	郡 山	株式会社福豆屋
44	郡 山	株式会社小田原屋
45	郡 山	株式会社柏屋
46	郡 山	株式会社富多屋生麺
47	郡 山	株式会社三万石
48	郡 山	あづま食品株式会社 郡山工場
49	郡 山	株式会社郡山製餡
50	郡 山	スターゼン販売株式会社郡山営業所
51	県中・県南	グランシア須賀川
52	県中・県南	桑名屋菓子店
53	県中・県南	須賀川Kitchenあぐり
54	県中・県南	シン・アグリ
55	県中・県南	農産物直売所 はたけんぼ
56	県中・県南	農産物直売所 はたけんぼ (とうふ工房)
57	県中・県南	農産物直売所 はたけんぼ (おやつ工房)
58	県中・県南	株式会社グランシア須賀川 支店 グランフーズ須賀川
59	県中・県南	株式会社日畜キシモト
60	県中・県南	農産物直売所 安心館
61	会 津	ホテルニューパレス
62	会 津	会津味処 富じ亭
63	会 津	(株)奈良屋
64	い わ き	スナック麗

(一般型)

NO	地 区	屋 号 (店舗名)
1	福島県北	談妃留
2	郡 山	株式会社桜八
3	郡 山	カレーハウスCoCo壱番屋 郡山東店
4	県中・県南	須賀川中央ミート有限会社



食の安心・安全・五つ星事業

食品衛生協会では、安心して安全な食品を消費者の皆さまに提供するため、会員の食品等事業者が日々行っている衛生管理対策の実施状況等をプレートで店頭に掲示し、消費者の皆さまが食事をしたり食品を購入する際の目安となるよう、この事業を実施しております。(詳細は各地区食品衛生協会にお問い合わせください。)

公益社団法人 福島県食品衛生協会

	会長 岸 秀年 ☎ (024) 521-4310
福島県北食品衛生協会	会長 丹野 善一 ☎ (024) 573-5088
郡山食品衛生協会	会長 大沼 由弘 ☎ (024) 935-2918
県中・県南食品衛生協会	会長 野木 彰 ☎ (0248) 75-4128
会津食品環境衛生協会	会長 佐藤 正 ☎ (0242) 28-6121
双葉地区食品衛生協会	会長 大和田正博 ☎ 080-9010-8040
いわき食品衛生協会	会長 林 義功 ☎ (0246) 27-8605

公益社団法人 福島県食品衛生協会特別会員

令和8年1月1日現在

青葉化成(株)郡山営業所	新和商事(株)郡山営業所
福味商事株式会社	福島県漬物協同組合
(株)マイルドクリーン東日本	トーニチ株式会社
あぶくま食品株式会社	株式会社聚楽
(株)二本松市振興公社	福島紅葉漬株式会社
株式会社マルト	(株)いとうフーズ
ふくしま未来農業協同組合	
常磐興産(株)スバリゾートハワイアンズ	
摺上亭大島	福島県食品産業協議会
(株)ダスキンクリーンケアグループ東北地域本部	
(株)リオン・ドールコーポレーション	
仙台ターミナルビル(株)エスパル福島店	

あ と が き

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

今年の干支は「午(うま)」で、古くから人間とともに生きてきた動物で、駿足を持ち、独立心が強く、また人を助けてくれる存在でもあります。

また、丙午(ひのえうま)の年は、「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」年になると言われています。食品衛生協会にとっても、「活動」の年となり飛躍できることを願うところです。本年も役員や会員の皆様のご指導とご協力をお願いいたします。

厨房の衛生管理のご提案

サラヤ特約店

福味商事株式会社

福島県本宮市本宮字館町161-2
TEL. 0243(34)2328
FAX. 0243(33)2086

(福島衛生検査所)運営

※厨房内の環境微生物調査を承っております。

自然派のサラヤ

手洗は、あらゆる感染症・
食中毒予防の基本

- ・シャボネット石鹸液ユム
- ・シャボ-X3

毎日使うものだから、自然にも・
人にもやさしく、その上でしっかり
洗浄・しっかり殺菌いたします。



株式会社 江東微生物研究所

食品検査、水質検査、検便検査、放射能検査
HACCP導入支援、JFS監査及び適合証明など

環境営業部 郡山第一営業所
〒963-0547 郡山市喜久田町卸3-24
<https://www.koutou-biken.co.jp>

テーマは「環境」そして「安心」です。



株式会社 小関秀雄商店

《営業品目》

理科学機器 分析機器 実験室設備 一般試薬 臨床試薬 工業薬品

本 社	〒960-8072 福島市北中央3丁目85番地の1	TEL (024) 535-1351 FAX (024) 531-3578
郡山営業所	〒963-8041 郡山市備前館1丁目127番地	TEL (024) 932-8534 FAX (024) 933-5494
いわき出張所	〒970-8024 いわき市平北白土字宮田8番地	TEL (0246) 35-6630 FAX (0246) 35-6631

もっとラクに! もっと効果的に! 冷機器温度の自動記録管理システム



衛生管理IoT記録システム



温度計



湿度計



SARAYA 東京サラヤ株式会社 東北支店 TEL.022-239-5051 <https://pro.saraya.com/>